

☆ ベトナム

海外投資

暁星、ベトナム事業への投資を拡大へ

韓国の大手化学・繊維メーカーの暁星 (Hyosung Corp.) は、このほどベトナムへの投資を拡大することを明らかにした。韓国の金融監督院は、暁星の2016年通年のベトナム事業の売上が、1,487億ウォン(1.31億ドル)であったことを発表した。これは、ベトナムに進出している韓国系の化学・繊維企業26社のうち最大の売上となった。利益は11億ウォンと3年連続で10億ウォンの水準を超えた。

業界専門家によると、米国がTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)から離脱を決定したことから、ベトナムの繊維産業が打撃を受けるのではないかと懸念が浮上しているものの、同社のベトナム事業は好調に推移している。韓国企業は、TPPに参加していないが、米国向け輸出をにらみ、これまでベトナムの繊維産業への投資を積極的に進めてきたが、米国がTPPからの離脱決めた後、多くの韓国系の繊維企業が同国への投資計画を見直しているという。

暁星は、ベトナムでの売上げが堅調であったことや、ベトナム政府の投資奨励策などから、ベトナム事業の拡張を計画しているといわれる。

同社は、ベトナムでのスパンデックスの生産能力を現在の年産5万トンから8万トンに引き上げる計画のほか、タイヤコードの年産能力も現在の10万トンから段階的に引き上げていく方針。また、今後は、化学工場の建設も計画しており、12億ドルを投じて、Ho Chi MinhのCai Mep工業団地に、天然ガスを燃料とするポリプロピレン(PP)とプロパン脱水素(PDH)工場、液化石油ガス(LPG)工場を建設する計画。

☆ 米 国

海外投資

山東如意集団、紡績工場を新設

5月10日、中国の大手紡織メーカー山東如意集団は、アーカンソー州Forest Cityに4.1億ドルを投じて紡績工場を建設することを明らかにした。

今回の投資は、山東如意集団にとって初の北米地域への投資であり、工場新設に伴い800名の新規雇用を計画している。工場建設地はもともとテレビの組み立て工場があったところで2007年に閉鎖している。山東如意集団はこの建物をリノベーションして活用する。2017年後半に稼働開始が予定されている。

山東如意集団は州政府から、今回の工場建設に対して補助金を受け取れるという。その中には、新規雇用者数に応じた最大 400 万ドルまでの補助金、新規雇用者への賃金の 5%相当の払戻金、税金の優遇策などが含まれるという。

山東如意集団は 2017 年 3 月に英国ブランドの Aquascutum を買収している。

中国では海外投資が奨励されており、繊維企業の海外投資をサポートする中国紡織国際産能合作企業連盟が 2017 年 3 月に設立されている(海外速報 2017 年 3 月 30 日)。山東如意は 5 カ国に進出しており、毛紡～アパレルの産業チェーンと綿紡～染色の産業チェーンを完成させている。